

## 東日本大震災共生プログラム 「神戸ワーキングホリデイ」

2012年7月30日（月）～8月2日（木）  
福島の若者（6名）を招いて  
ヴォーリズ六甲山荘での3泊4日の交流会

アメニティ 2000 協会は東日本大震災被災者支援活動を展開してきましたが、今回は地震、津波、そして原発事故の影響の残る福島県から4名の女子高校生と2名の女子大学生（計6名）を、ワーキングホリデイに招待し、地元の高校・大学生たちとヴォーリズ六甲山荘において共同生活しながら交流します。

### ○ 地元の学生たちとの共同作業をととして交流をふかめます

参加するのは福島と阪神間の高校・大学生の若者たちで、ベンガラ塗り（山荘の外壁の塗装）の作業、六甲山や神戸の散策や交流会を楽しんでもらいます。また神戸の震災と復興についても学ぶ場をもうけます。福島の学生ばかりでなく、震災の記憶のほとんどない阪神間の学生と一緒に学んでいきます。

### ○ 若者が主体のプログラム作り

受け入れについては阪神間の大学生・高校生15名でプロジェクトチームを編成し、計画・運営を行っていきます。

六甲山上にあるヴォーリズ六甲山荘に若者たちの声が響き、笑顔で満たされる時の流れから共生の意識が生まれることを願っています。

### ○ 私たちの被災体験とともに！

アメニティ2000協会は「私たちがお返しする番です」を合言葉に、東日本大震災に対する支援活動として、支援コンサート、自然観察会、園遊会等の関西在住被災者への支援、そして復興事業への協力を行ってきました。このワーキングホリデイは、その活動の一環として、福島の被災者を関西に招待して若者たちの交流を図ろうと企画したものです。

### ○ 募金をお待ちしています

この企画の実施費用は募金によってまかなわれます。その資金を一般に募集しています。

### \* ワーキングホリデイ

作業（ワーク）と楽しみ（ホリデー）を共同して行うことで交流をはかる活動です。アメニティ 2000 協会は2010年に第1回のワーキングホリデーを開催し、国内外から11名が参加しました。

### \* ヴォーリズ六甲山荘 （神戸市灘区六甲山町北六甲 4-744）

ヴォーリズの設計により個人の山荘として1934（昭和9）年に建てられた。木造平屋建。ヴォーリズの設計思想がよく表れて、オリジナルな状態がよく保たれた、山荘建築の代表的な作品。アメニティ 2000 協会が所有し、保存・公開に務めている。国登録有形文化財。近代化産業遺産。ひょうご近代住宅 100 選。

